

【表紙】

【提出書類】

有価証券報告書

【根拠条文】

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 第36期の持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

2【沿革】
E03478)

お客様の目の前で好みの分量に切り分けてステーキを提供するオーダーカットステーキ店の「炭焼ステーキくに」、とんかつ専門店の「こだわりとんかつ かつき亭」、牛たん専門店の「牛たん仙台なとり」、ステーキレストラン店の「Prime42 BY NEBRASKA FARMS」を当社の直営、フランチャイズ及び委託事業として運営しております。

レストラン事業にて蓄積されたノウハウやメニューを、いきなり！ステーキ事業にも活用しております。

(3) 商品販売事業

ネットショップ販売を主流として、冷凍ハンバーグ、冷凍いきなり！ガーリックライス、冷凍牛たん、いきなり！ステーキセット（ご家庭で召し上がれるステーキセット）、ドレッシング、笑顔の見える業務店用のマスク等を販売しております。業務用卸販売として、とんかつソース、ステーキソース、いきなり！ガーリックライス、ドレッシング等の食材のほか、びたり箸(膳の箸がいつでも寄り添う箸)の販売を行っております。

また、「いきなり！ステーキ監修」のソース及びピラフ等の販売に伴うロイヤリティ収入を受領しております。

当社事業の系統図は次のとおりであります。

2020年12月31日現在のいきなり！ステーキ事業及びレストラン事業の店舗数を出店立地別に示すと、次のとおりであります。なお、出店立地における「路面店」とは、一戸建て型の店舗及びビルテナントにある店舗を指し、E03478)

第2【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

お支払の利便性向上のため、いきなり！ステーキ事業・レストラン事業にて、QRコード決済を導入し、キャッシュレス決済の多様化を実施しております。

事業全体の収益力を高めるため、不採算店舗の撤退を引き続き行い、また、出店戦略として立地ごとの売上高の進捗を確認し、立地別のメニュー施策についてテスト店にて検討を行っております。

(6) 安全管理、食材調達ルートの多元化

お客様に安全な食品を提供するために食の安全管理を徹底し、安全で安定した商品供給のために食材の産地と調達先を厳選するとともに多元化を推進してまいります。当社は委託先の物流センター、食材調達先の工場等の取引開始前はもちろんのこと、取引開始後もISOの認定資格者等が定期的に訪問し、衛生管理、品質管理の状況を確認いた

E03478)

当社は特定産地の単一食材(牛肉)に依存しております。今後も現状以上に新たな産地の開拓や分散調達等のリスクヘッジに努めてまいります。しかしながら、新たな疫病の発生、天候不順・天災等の発生により、必要量の原材料確保が困難な状況になること、または、市場価格や為替相場の変動により、仕入れ価格が高騰し、売上原価が上昇することにより、当社の業績へ影響を及ぼす可能性があります。

特定仕入先への依存について

当社は、当社の直営店舗及びフラ川

(3) 人材の確保・育成について

当社は引き続き、F C事業の拡大を事業の柱としているため、特にF C店に対して店舗運営指導を行うスーパーバ

(10) 借入金について

長期借入金のうち当社の株式会社三菱UFJ銀行との2018年3月20日締結の実行可能期間付タームローン契約（契約総額1,300百万円、2020年12月31日現在借入金残高207百万円）において財務制限条項が付されております。

この契約に基づく当事業年度末の借入未実行残高は、次のとおりです。

タームローン

契約総額 1,300百万円

借入実行総額 1,300百万円

借入未実行残高 - 百万円

なお、下記の財務制限条項の（a）に抵触した場合は、
朦 朧 喙 鋏 囁 髙 喙 濾

(2) 経営成績等の状況に関する分析・検討内容

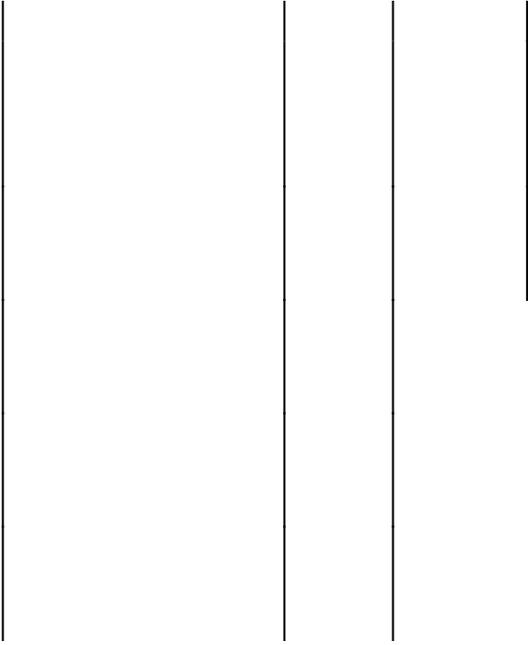
経営者の視点による当社の経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容は次のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当事業年度末現在において判断したものであります。

重要な会計方針及び見積り

以上の結果、税引前当期純損失は2,756百万円（前事業年度は2,969百万円の損失）となり、前事業年度と比べ213百万円の増加となりました。また、当期純損失は3,955百万円（前事業年度は2,663百万円の損失）となり、前事業年度と比べ1,292百万円の減少となりました。

(4) 当社は、F C加盟者との間で海外における下記の契約を締結しております。



第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	70,800,000
計	70,800,000

【発行済株式】

種類	事業年度末現在発行数(株) (2020年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2021年3月26日)	上場金融商品取引所名又は登 E03478)	

<p>(5) 調達資金の額 (新株予約権の行使に際して出資される財産の価額)</p>	<p>9,623,400,030円(差引手取概算額:9,609,400,030円)(注) (内訳) 本新株予約権発行分 79,479,030円 第11回新株予約権発行分 59,402,358円 第12回新株予約権発行分 20,076,672円 本新株予約権行使分 9,543,921,000円 第11回新株予約権行使分 6,680,753,000円 第12回新株予約権行使分 2,863,168,000円</p>
<p>(6) 行使価額及び行使価額の修正条件</p>	<p>資本組入額 第11回新株予約権 208円</p>

<p>(9) 譲渡制限及び行使数量制限の内容</p>	<p>第11回新株予約権については、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第410条第1項に規定される「MSCB等」に該当することから、当社は、東</p>

(第11回新株予約権)

|

|

|

(6) 【大株主の状況】

--	--

【自己株式等】

EDINET提出
株式会社ペッパーフードサービス(EO
有価証券報

(口)取締役会・監査役会等の構成員

取締役会、監査役会、指名報酬諮問委員会その他の構成員は以下のとおりです。

(1)取締役会

(議長)

代表取締役社長 一瀬 邦夫

(構成員)

代表取締役副社長 一瀬 健作

専務取締役 菅野 和則

常務取締役 芦田 秀満

常務取締役 猿山 博人

取締役 佐野 雄太

社外取締役 稲田 将人

社外取締役 山本 孝一

株主総会の特別決議要件

当社は、会社法第309条第2項に定める株主総会の特別決議要件につき、議決権を行使することができる株主

(社外取締役及び社外監査役の関係)

社外取締役である稲田将人氏は、複数の企業の役員、事業責任者などの経験を有し、豊富な経験と幅広い見識による専門的見地から職務を適切に遂行しております。また、指名報酬諮問委員会の委員であります。

社外取締役である山本孝之氏は、過去に直接経営に関与したことはありませんが、公認会計士及び税理士の資格を有し、高度な専門知識を活かし財務及び会計の面から職務を適切に遂行しております。また、指名報酬諮問委員会の委員であります。

E03478)

1 【財務諸表等】
（1）【財務諸表】
【貸借対照表】

【株主資本等変動計算書】

当事業年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）



【キャッシュ・フロー計算書】

【注記事項】

（継続企業の前提に関する事項）

日本国政府は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に関連した感染症対策の基本方針等を公表しましたが、それ以降消費者は外出等を控え外食需要に重要な影響を与えております。当社においては、政府及び自治体から

3．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

(未適用の会計基準等)
(収益認識に関する会計基準等)
E03478)

5. 保証債務

次の元子会社について、賃貸借契約にかかる未払賃料等に対する債務保証を行っております。

前事業年度
E03478)

なお、回収可能価額は、正味売却価額または使用価値により算定しております。使用価値の算出については、将来キャッシュ・フローを加重平均資本コスト（7.87%～8.01%）で割引いて算出しております。将来キャッシュ・フローがマイナスの場合、回収可能価額をゼロとして評価しております。

当事業年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

当社では、減損の兆候を判定するにあたり、原則として店舗資産、本社等の共用資産に分類し、それぞれにおいて独立したキャッシュ・フローを生成する最小単位にグルーピングしております。

当事業年度において、収益性の低下により以下の店舗資産及び遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減
E03478)

5 関係会社との取引高

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握すること
E03478)

負債

(1) 買掛金、(2) 未払金、(3) 短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 長期借入金

(ストック・オプション等関係)
E03478)

(企業結合等関係)
共通支配下の取引等
E03478)

(関連当事者情報)

1 . 関連当事者との取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主 (会社等の場合に限る。) 等

(1 株当たり情報)

--	--	--

(重要な後発事象)
(新株予約権の行使)

4) 貯蔵品

品目	金額(百万円)
店舗用消耗品	55
その他	0
合計	55

第6【提出会社の株式事務の概要】

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

2021年3月25日

株式会社ペッパーフードサービス

財務諸表監査における監査人の責任
E03478)

